

主催 Bizipnest

～ニセモノ対策はこれだ！～ 意外に知らない特許と意匠のからめ方 3視点×3のツボ

一般には、特許を取るには技術的なハードルが必要だし、意匠はとっても、少し変えられてしまえば逃げられてしまうと考えられています。しかし、ケースによっては、意匠をうまく使う方が、ニセモノ対策に効果的な場合があります。

本セミナーでは、権利化業務を通じて、事業に効く知財活用を推進してきた三人の弁理士が、それぞれの視点から、「意外に知らない特許と意匠のからめ方に関する3つのツボ」について、具体例を用いて説明致します。

＜第1の視点＞「特許がダメなら、もうお手上げ？」

- ツボ1：特許だけを考えていると損をしているかも
- ツボ2：製品開発に「意匠的視点」が欠けていませんか？
- ツボ3：意外と重要な「意匠的視点」を入れるタイミング

＜第2の視点＞「意匠登録を戦略的に行うと事業に有利になる！」

- ツボ1：意匠戦略でのイロハの「イ」とは
- ツボ2：意匠で有効にニセモノ対策をするには
- ツボ3：実は意匠で守れるが気がつかない物品とは

＜第3の視点＞「IoT時代における画面デザイン」

- ツボ1：なぜ今、画面デザイン？
- ツボ2：画面デザインって意匠とれるの？
- ツボ3：画面デザインって特許とれるの？

◇講師からの一言

＜第1の視点＞ 弁理士 多田 裕司 (Bizipnestメンバー)

意匠権よりも特許権の方が権利として広いと誤解され、新製品の保護を考える際に意匠出願を検討されない企業が散見されます。意匠権は特許権の脇役ではなく、状況によっては意匠権が主役になります。特許と意匠の上手なからめ方をお話します。

＜第2の視点＞ 弁理士 垣木 晴彦 (Bizipnestメンバー)

貴社では、新製品に関して1件の意匠出願しかされていないことはありませんか。意匠登録をニセモノに有効に機能させるためには、部分意匠及び関連意匠について戦略的に考えて複数の意匠出願を行う必要があります。意匠の上手な戦略をお話します。

＜第3の視点＞ 弁理士 松下 正 (Bizipnestメンバー)

独特な画面デザインは、差別化するためには強力なツールです。このような画面デザインは、技術的な点を特許で、デザイン的な点を意匠で保護することができます。この視点では、画面デザインについて、実際どのようなものが登録されているのか事例を中心に、その留意点についてお話します。

◇日時：平成29年10月25日（水）13：30開始

<詳細スケジュール>

第1の視点 13：35～14：25

第2の視点 14：30～15：20

第3の視点 15：25～16：15

質問タイム 16：15～16：25

◇場所：日本弁理士会近畿支部 第1会議室（明治安田生命大阪梅田ビル 25階）
大阪市北区梅田 3-3-20 TEL06-6453-8200

◇セミナー参加料 3,000円（消費税込）

（当日ご持参下さい。なお、キャンセルされる場合には、10/23（月）中にご連絡頂きますようお願い致します。ご連絡なき場合にはセミナー参加料を後日申し受けます。）

◇対象 ビジネス（事業）との関係で知的財産を有効に活用したいとお考えの
中堅・中小企業の経営者や知財担当者の方々

【注】士業又はコンサルティング会社の方のご参加はご遠慮下さい。

◇定員 30名

先着順・定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※要事前申込、先着順の関係でお断り又は中止する場合がございます。

◇申し込み方法 裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX（06-6631-0801）
によりお申込ください。

◇お問い合わせ先 アルカディア知財事務所 垣木（かきぎ）宛 Tel：06-6631-0101

主催 Bizipnest

～ニセモノ対策はこれだ！～
意外に知らない特許と意匠のからめ方
3視点×3のツボ
参加申込書

アルカディア知財事務所 垣木（かきぎ） 行
(FAX:06-6631-0801)

フリガナ		企業名 部署・役職	
参加者氏名			
TEL		FAX	
e-Mail			
住所	〒		
出願経験等	出願等の知財業務のご経験： あり・なし (特許 件／年間、意匠 件／年間、商標 件／年間)		

●お申込後の参加証は発行致しませんので、直接会場にお越し下さい。

●本セミナー特典として、後日、無料相談（1時間）をお受け致します。
なお、本セミナー当日に無料相談申込書にてお申込み下さい。